

みらいふ会議 第三弾結果

どんな場所？サービス？
あったらいいなをカタチにしよう！ 全三回

一般社団法人みらまち緑が丘・青山推進機構

2026年2月

みらいふ会議 参加無料

あなたの声がまちの未来を動かします。

みらいふ会議ってなに？ 昨年末から実施してきた全戸アンケートの結果をもとに、みなさんと一緒にまちのみらいを描くワークショップ。「こんな風になったらいいな」「こんなことができたら楽しそう」そんなワクワクする思いを、声に出して共有しませんか？

これまで重ねてきた意見交換会の集大成として、みなさんの想いやアイデアを集め、三木市への提案として、また団地再生案としてまとめていきます。前回の移動のテーマに続き、第三弾ではサービス、施設をテーマとしてみなさんのご意見をお伺いします。

第三弾 テーマ どんな場所？サービス？ あつたらしいなを カタチにしよう！ 全3回

気軽にお菓子を楽しみながら、あなたの声をお聞かせください。 ※事前申込不要、各回先着20名

青山会場 コープこうべ協同学苑

第1回 2025年 11月27日(木) 14:00~16:00
第2回 2025年 12月20日(土) 14:00~16:00
第3回 2026年 1月15日(木) 14:00~16:00

緑が丘会場 サテライト拠点「たかはしさんち」(緑が丘町東1丁目)

第1回 2025年 11月28日(金) 10:00~12:00
第2回 2025年 12月19日(金) 10:00~12:00
第3回 2026年 1月16日(金) 10:00~12:00

主催 一般社団法人みらまち緑が丘・青山推進機構 お問い合わせ 070-2916-9959 miramachi.gb@gmail.com

【参加者数】

第一回

11月27日(木) @青山:4名
11月28日(金) @緑が丘:12名

第二回

12月19日(金) @緑が丘:11名
12月20日(土) @青山:9名

第三回

1月15日(木) @青山:6名
1月16日(金) @緑が丘:10名

合計: 延べ52名 (緑が丘:33名／青山:19名)

「どんな場所？サービス？あったらいいなをカタチにしよう！」

意見交換の結果

第三弾テーマの中で、望む住まいや地域内に必要と感じる施設サービスについて、ご意見をいただきました。

望む住まい、必要な施設・サービス等

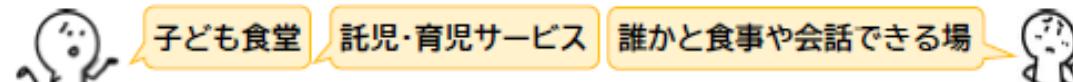
※詳細はHPに [みらまち機構](#) 検索

自宅が難しい場合、自分の意思で生活できる施設が良い。

シェアハウス

今家のまま必要なサービスを使い住み続けたい

個配・配食サービス



意見交換で出た一例
公共施設(公民館・公園等)
店舗・教育施設
空きスペース(空地・緑地帯)
地域拠点(たかはしさんち等)

地域資源



「あったらいいな」
のサービス・場

今困っているコト
今後困るコト

地域にある資源と「こんなサービス」「こんな拠点」があると良いね
を掛け合わせて、困りごとを克服できるよう意見交換を深めました。

「こんなサービス」

「こんな地域拠点」



こんなサービスなら
使ってみたい

高齢者サポート
✓ 外出したくなる
・気軽にに行ける場所
✓ デイサービス
✓ SOS・見守りの仕組み

- 子育てサポート
 - ✓ 子供だけで遊べる場所
 - ✓ 0歳児保育
- 多世代交流
 - ✓ 大学生主催イベント
 - ✓ クラブ活動の拠点・発表の場
- 食
 - ✓ 夕食を持ち寄り食事会
 - ✓ 料理教室など、みんなで料理
- 子育て支援
 - ✓ 勉強を見る会
 - ✓ 子供が楽しめるイベント

今後地域や三木市に提案していくよう、引き続き検討してまいります

【結果報告】

- ・ 全戸配布にて、左記のとおり全体を通してまとめた概要版にて住まい手にはフィードバック。
- ・ みらいふ会議の全てが終了した旨とみらまち機構からのお知らせをチラシの裏面に印刷して配布するものとする。

【参加できなかった方へのフォロー】

- ・ 以下文面を併せて掲載し、意見のある方へのフォローとする。なお、webフォーム内で個別に連絡を求める方への対応もする旨を掲載。

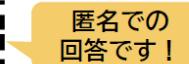
意見交換に参加できなかった皆さんへ

当日ご参加いただけなかった方や、ご参加いただいたけれども追加でご意見がある方は、アンケートへのご回答をお願いします。いただいたご意見は、三木市への提案として、また当機構の団地再生案としてまとめていきます。(回答期限:2月28日(土))

回答はこちらから▶



たったの3分
で完了！



匿名での
回答です！

参考) 当日説明資料(必要な場やサービスについて考える際の前提)

これから必要なサービスを考える上で、今困っていること、将来（年を重ねて）困ることが解消されることを望むと思います。

課題解決には地域にある資源（ヒト・モノ・バシヨ）をうまく活用していくことでより持続的なサービスになっていくと考えられます。このことを念頭に置いて考えてていきましょう。



第一回 結果

【日程等】

日時: 11月27日(金) 10時~11時30分

場所: たかはしさんち(緑が丘)

参加者数: 4名

日時: 11月28日(木) 14時~15時30分

場所: コープこうべ協同学苑(青山)

参加者数: 12名

【実施内容】

1. 今の生活で困っていること

1-1. 住宅内: 住みにくいと感じること

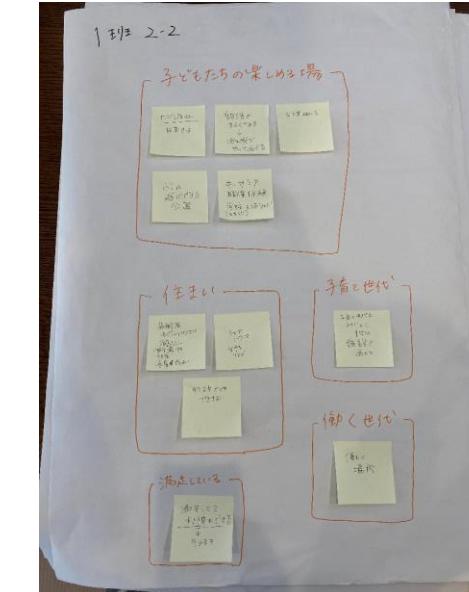
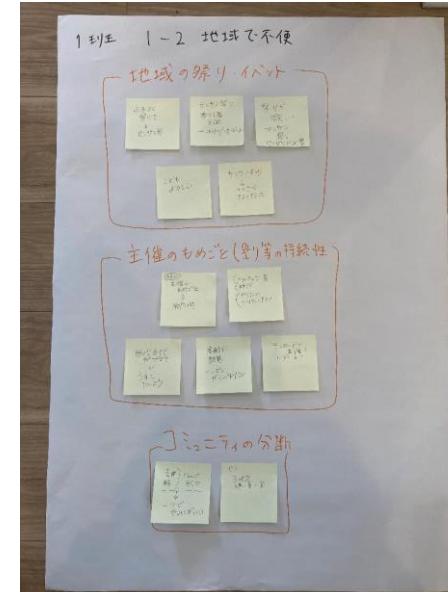
1-2. 地域内: 不便に感じること、(将来含め)不安なこと

2. 望む環境

2-1. 望む住まい

2-2. 地域内に必要と感じる施設・サービス

※当日の意見交換後のまとめ(一例)



第一回の結果

1-1. 家の中で住みにくいと感じること①

庭や家の前の歩道など、家の周りでの困りごとに関するご意見をいただきました。
また、生活の中での、家事や介護助成についても意見がありました。

バリアフリー

階段

- ・階段が多い（2階まで、玄関まで）
- ・昇り降りが運動になる
- ・荷物があると大変

手すり

- ・段差がある場所に手すりを設置している
- ・手すりの向きも重要

段差

- ・家の中の少しの段差でつまづく

工事の必要性

- ・高齢の来客に対応する必要
- ・病気の親のために改修
- ・将来の不安がある

車いす

- ・家の中の移動が難しい
- ・トイレが狭く入れない
- ・玄関前へのスロープ設置はかなりの場所が必要

設備

電気関係

- ・漏電の心配
- ・建物が古く、電気関係への不安

寒さ対策

- ・内窓への興味
- ・床暖房を導入し、快適になった
- ・浴室のヒートショック対策をした

外壁塗装

- ・費用負担が大きい

建て替え

平屋

- ・平屋に立て替えたい
- ・平屋にしたいが子どもの部屋も必要
- ・建て替え中の仮住まいが面倒
- ・50年の住まいとして6人が住める家を作ったが、今は2人しか住んでいない

引っ越し

- ・サ高住、高齢者マンションへ引っ越ししたい

第一回の結果

1-1. 家の中で住みにくいと感じること②

庭や家の前の歩道など、家の周りでの困りごとに関するご意見をいただきました。
また、生活の中での、家事や介護助成についても意見がありました。

庭

維持管理

- ・剪定が大変
- ・草むしりの負担
- ・チェーンソーは体力が必要
- ・高所の剪定は危険
- ・プロに剪定を依頼する場合、費用負担が大きい
- ・隣家の枝が伸び、そちらもメンテナンスする必要がある

歩道

- ・街路樹のせいで歩道がでこぼこ
- ・駐車場に入る所だけへこんでいる
- ・歩道を整備してほしい
- ・自転車で転んでしまう危険

家事

- ・家事が良い運動になる
- ・家の中の掃除が大変、平屋にしたい

介護助成

- ・介護助成が使えることを知らない人が多い
- ・行政が周知すべき
- ・2丁目には民生委員がない
- ・節目の年に知らせてほしい

駐車場として活用

- ・庭でなく駐車場にするべきだった
- ・子供が来たときは駐車場として活用

第一回の結果

1-2. 地域内で不便に感じること、(将来含め)不安なこと①

地域のつながり・コミュニティに関して、祭りや会話の喪失、情報共有や管理体制の不足、災害への懸念等の意見があがりました。

お祭り

サンサンまつり

- ・コロナで消滅したが、再開したい
- ・歩行者天国にするため、警察・警備員が必要

担い手

- ・役員の負担
- ・世代交代が必要
- ・高齢化
- ・熱意の不足
- ・リーダーが続かない

コミュニティの希薄化

地域全体

- ・知り合うきっかけが不足
- ・地域の集まりが少ない

若い世代

- ・若い世代に対して声をかけにくい
- ・若い世代間での会話も少ない
- ・若い世代の孤立

地域の管理

情報共有

- ・回覧板がない、民生委員がいない地域がある
- ・市から連絡が欲しい

自治会

- ・抜ける人が多い
- ・メリットがない
- ・役員の負担が大きい
- ・若い世代が避けがち

地区間での差

- ・地区によって管理が異なる
- ・核になる人の有無で、地区ごとに活動の差がある

防災

訓練

- ・訓練は自由参加で、年に一度のみ
- ・他人事になっている
- ・災害が少なく、活発でない

情報発信

- ・看板には一時避難場所しか載っていない
- ・避難場所の整備・周知が必要

第一回の結果

1-2. 地域内で不便に感じること、(将来含め)不安なこと②

住環境に関して、環境面、買い物や医療施設・交通に関する不安の意見がありました。

環境

樹木

- ・個人宅の木が電柱にかかっている
- ・木が街灯にかかって暗くなっている
- ・木でさんさん広場横の時計がバス停から見えない

空き地・空き家

- ・草木が手入れされていない
- ・景観が悪い
- ・家の後ろの空き地について、市から問い合わせが来た

買い物

移動

- ・免許を返納したので、歩いてスーパーに行っている
- ・子供と一緒に買い物に行くため、自分の都合で出かけられない

配送

- ・個人宅配を利用している

交通

交通手段

- ・念のため車は残しているが、骨折したときに役立った
- ・循環バスが不便
- ・幹線道路から離れた地区のことを考えられていない

道路

- ・交通安全が保証されているか

医療

医療施設

- ・町医者の閉院
- ・遠方の病院は紹介制で、車がないと行けない

通院

- ・免許返納後の通院が不安
- ・交通手段がないため、病院を変えた
- ・病院までの乗り換えが多くて大変

第一回の結果

2-1. 望む住まい

今の家に住み続ける派と新たな住まいに移る派、それぞれの意見がありました。

今の家に住み続ける

住居

- ・今は元気なので、将来のこととはまだ考えていない
- ・健康である限り今のままで良い
- ・引っ越しすのも大変

生活

- ・体が不便になってしまっても、できる限り今の状態を維持したい
- ・自立している感覚が必要

地域への愛着

- ・同じ環境に住みたい
- ・都会では人との交流がない

サービス

- ・今の家のまま、様々なサービスを使いたい
- ・住み続けられるサービス・施設が欲しい

リフォーム

- ・車いすで移動できるようにしたい
- ・リビングと寝室は欲しい
- ・子供が住み続けるためリフォームした

新たな住まいに移る

サ高住

- ・自分の意思がちゃんと持てる。特養はつまらない
- ・本人の気持ち、社会からの見え方を考えるとサ高住がよい

特養

- ・自分のことができなくなったら特養に入る
- ・親を老人ホームに入れると、空いているところがなくて困った

新しいスタイル

- ・独立感とつながりがある、長屋のような住まい
- ・シェアハウス
- ・自宅から特養に移るまでの橋渡し的住まい
- ・高齢者のモデルハウスが欲しい

住まい・暮らしの不安

家族への負担

- ・病気などで家族の負担を増やしてしまう可能性
- ・荷物処分で子供に苦労かけたくない

長生きリスク

- ・長生きするとお金が足りなくなる
- ・早く施設に入居してしまうと、長生きして生活保護になってしまう可能性がある

ひとり身

- ・家に男性がいるかどうかで、周囲からの見え方が変わる
- ・夫婦で円満に暮らしているが、ひとりになったら不安
- ・人と交流したい
- ・一人で死ぬのは嫌

保証人

- ・保証人によっては、施設に住み続けられない場合がある
- ・家に住み続けていても、出るときには保証人が必要になってくる

第一回の結果

2-2. 地域内に必要と感じる施設・サービス

買い物関連や子供向けの施設・サービスを求める意見が多くありました。

施設

食料品店

- ・新鮮な魚を買える場所
- ・お買い物カー（出張スーパー）

コンビニ

- ・車がなくなったら利用する
- ・ICカードのチャージができる
- ・コンビニができて便利になった

会話の場

- ・地域での会話の場を提供してほしい
- ・多世代交流の場

子ども・子育て世代向け

- ・子育て世代に魅力ある施設
- ・駄菓子屋
- ・職業体験の施設

その他

- ・毎日のお風呂洗いが大変なので、お風呂屋さんが欲しい
- ・誰かと食事ができる施設

買い物

- ・個配や配食サービス
- ・商品券があると嬉しい
- ・高齢者割引などが欲しい

子ども・子育て世代向け

- ・**子ども食堂**
- ・子ども連れでも行ける**イベント**（スタンプラリー、キッチンカー）
- ・**託児、育児サービス**
- ・**地域での部活動支援**

見守り・安否確認

- ・家電に付いたセンサーで安否確認
- ・身寄りのない人に安否確認が必要
- ・いざとなったら看護師が来てくれる状態
- ・命のカプセルの設置による安心の確保、**地域の見守り**

情報発信

- ・掲示板だけでなく**声掛け**が必要
- ・**スマホは面倒で見ない**
- ・地区ごとの情報格差がある

第二回 結果

【日程等】

日時:12月20日(土)14時~15時30分

場所:コープこうべ協同学苑(青山)

参加者数:9名

日時:12月19日(金)10時~11時30分

場所:たかはしさんち(緑が丘)

参加者数:11名

【実施内容】

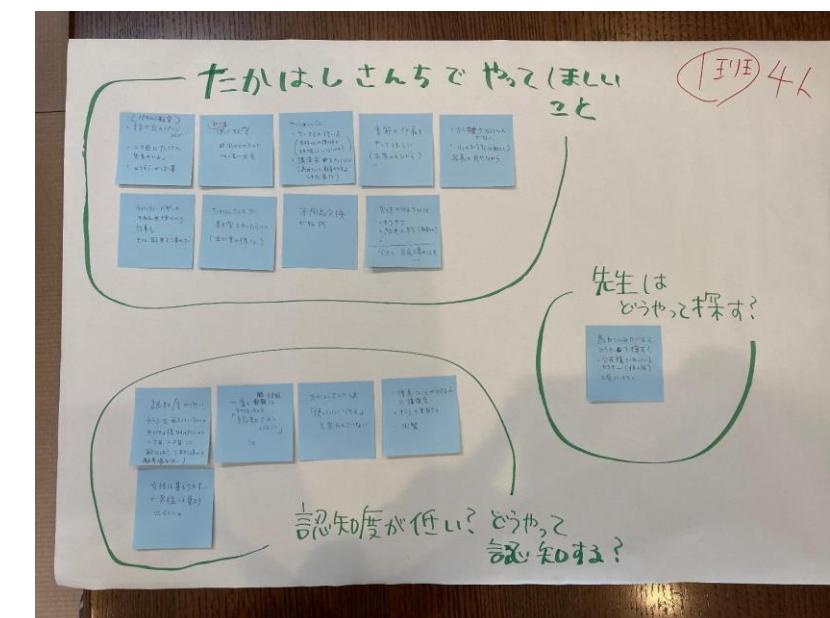
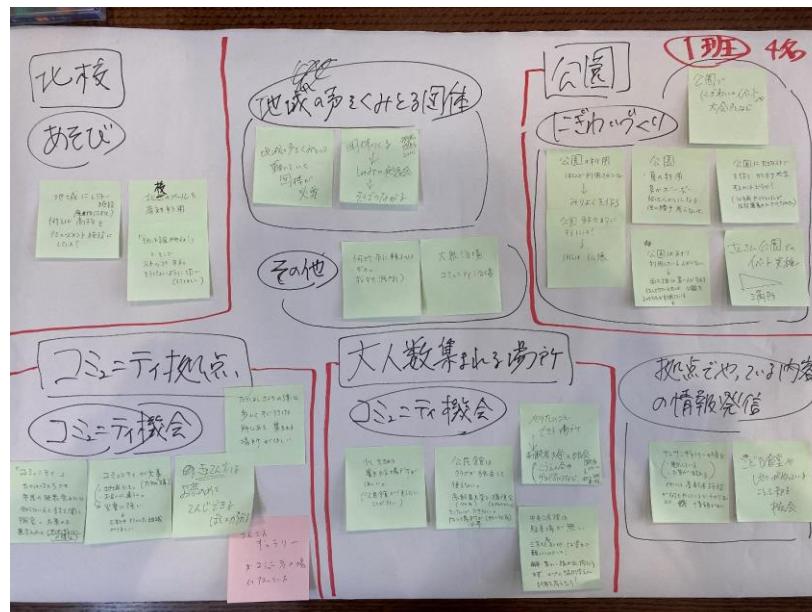
意見交換1. どこでどんなサービス? × 地域資源(場所)

「ケアに係るサービス」

「子育てから生活全般に係るサービス」

意見交換2. 身近な拠点で使えると嬉しいサービス × 地域資源
(ヒト・モノ・コト)

※当日の意見交換後のまとめ(一例)



第二回の結果

①地域にほしいサービス・施設

各世代が必要としているサービスや集まる場・買い物施設等を求める声や、公園や廃校などの地域資源を活用するという意見が出ました。

生活

- ・家の中をバリアフリー化
- ・ゴミ捨てのサポート
- ・樹木の剪定などの相談窓口

イベント

- ・本の読み聞かせ、あみもの
- ・ハロウィン
- ・フリーマーケット

子育て

- ・未就学児の預かり場所
- ・民間のアフタースクール
- ・子供を安心して預けられる場所
- ・自習室+勉強を見てくれる機会

高齢者

- ・定年退職後の社会参加をサポート
- ・おひとり住まいの方のサポート

集まる場

- ・シニアと若者が一緒に話せる場
- ・大人数が集まる場所
(公民館は使えないことが多い)
- ・講演会ができるような広い場所

交流する場

- ・勉強会
- ・多世代・多文化交流の場
- ・外国人を受け入れる場
- ・地域を知ってもらう機会

地域資源の活用

- ・公園でイベント
(カラオケ大会、フリーマーケット)
- ・公園の整備
(ウォーキングコース、街灯設置)
- ・三木北高校跡地をアミューズメント施設に

店舗・施設

- ・歩ける範囲に生活利便施設
- ・定食屋、カフェ
- ・非日常を味わえるスポット
- ・観光施設
- ・コストコ、百貨店
- ・賃貸住宅
- ・大衆浴場
- ・駐車場
- ・グループホーム、老人ホーム

第二回の結果

②地域拠点(たかはしさんち)にほしいサービス

趣味を活かしたイベントの開催や、暮らしに関するサポートを求める意見が出ました。

教室・趣味

- ・パソコン、携帯教室
- ・囲碁、麻雀、
将棋の教室・大会
- ・古文書、詩吟

講演会・相談会

- ・お墓について
- ・認知症、健康について
- ・戦争について

情報発信

- ・たかはしさんち自体の情報発信
(認知されていない)
- ・まちの情報を集約して発信
(時刻表や行政のお知らせなど)

イベント

- ・バザーなど、不用品交換
- ・季節の行事
- ・カラオケ

医療・健康

- ・訪問診療
- ・健康、認知症に関する相談会
- ・マッサージ

その他

- ・交通結節点の役割
- ・行政の出張窓口

会話

- ・話す場所
- ・リモートでのおはなし会

第三回 結果

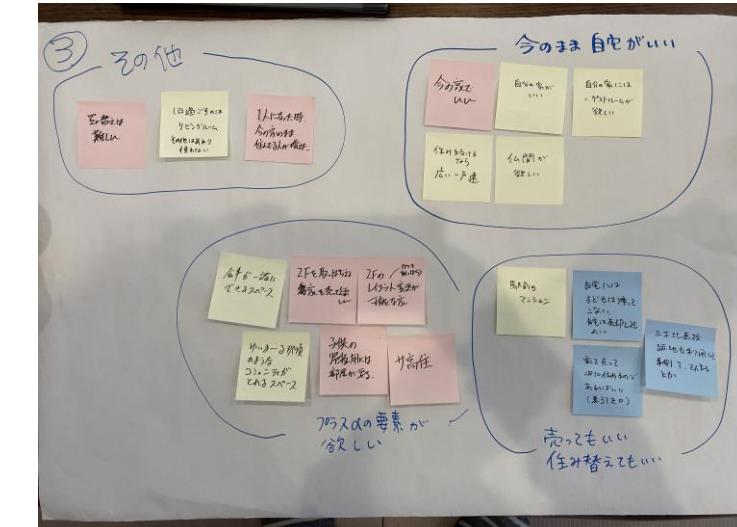
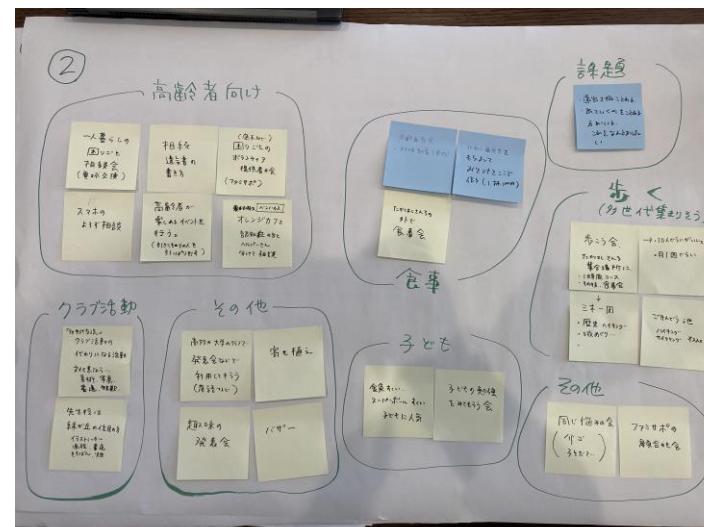
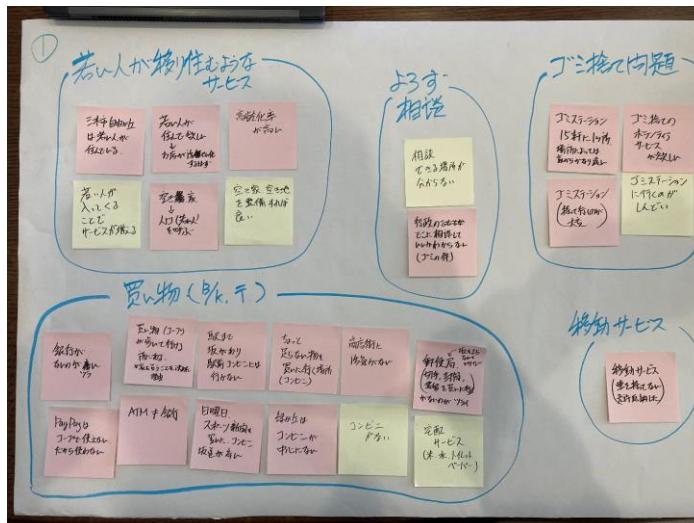
【日程等】

日時: 1月15日(木)14時~15時30分
場所: コープこうべ協同学苑(青山)
参加者数: 6名

日時: 1月16日(金)10時~11時30分
場所: たかはしさんち(緑が丘)
参加者数: 10名

【実施内容】

- 意見交換1. 「こんなサービスを提案しよう」を考える
- 意見交換2. 「こんな地域拠点を提案しよう」を考える
- 意見交換3. 「こんな住まいを提案しよう」を考える



※当日の意見交換後のまとめ(一例)

第三回の結果

①地域内のサービスに関する提案

世代ごとの悩みや、暮らしの困りごとから、地域に必要なサービス・仕組み・機会などについて提案いただきました。

高齢者向けサービス

- ・ひきこもりの高齢者を外出させるサービス
- ・生活範囲が狭くならないよう気軽に行ける場所
- ・デイサービスのような場所
- ・SOSの仕組み
- ・困ったときに気軽に頼れる関係性
- ・高齢者向け食堂

暮らしに関するサービス

- ・ゴミステーションが場所によっては遠い
- ・ごみ捨てのボランティアサービスがほしい
- ・家の外回りの手入れが大変

学ぶ機会・趣味の場

- ・高齢者大学、市民大学
- ・家庭菜園

子育てサービス

- ・出生率が低下している
- ・緑が丘保育園の閉園
- ・多くは家庭保育
- ・子供だけで遊べる場所
- ・0歳児保育

買い物施設・銀行・郵便局

- ・銀行がない
- ・PayPayが使えない場所がある
- ・歩いて行ける距離に欲しい、坂道がきつい
- ・緑が丘にコンビニがない

移動・交通に関するサービス

- ・運転が出来ない
- ・遠出が難しい
- ・近くにいる子供に頼っている

地域内雇用の仕組み

- ・就業場所がない、企業誘致が必要
- ・地元で働く仕組み
- ・人がいない

公園の在り方を見直す

- ・公園が廃れている
- ・近隣住民や子供同士の繋がりがなくなった
- ・公園の利活用
- ・子供同士で遊べる場所
- ・自由に遊べる場所（段ボールすべり禁止、野球禁止の場所もある）
- ・スポーツクラブのような場所

第三回の結果

②地域拠点に関する提案

安心・安全・便利に使える地域拠点の提案や、イベントの開催など、交流の場となるような提案いただきました。

安心・安全面

- ・町の中心的な場所
- ・駐車場が必要
- ・乗り降りが安全にできるロータリーが欲しい
- ・障害者も自由に出入りできる
- ・大人の目がある

食事を楽しめる

- ・夕飯を持ち寄っての食事会
- ・お酒はルールが必要
- ・コーヒーやお菓子を楽しむ
- ・料理教室、共同で料理する
- ・高齢者食堂
- ・カフェ

趣味・交流の場

- ・移動本屋サービス
- ・大学生主催イベント（多世代で話す機会）
- ・趣味スペース
- ・歩こう会
- ・クラブ活動の拠点、発表の場
- ・バザー、将棋大会、寄せ植え

情報発信

- ・情報発信がされていない、自治会に周知すべき
- ・スマホで空き状況を確認
- ・カメラで混雑情報を周知
- ・予約制にする
- ・様子がわかる

高齢者向けのイベント

- ・困り事相談会（電球交換、スマホなど）
- ・困り事ボランティア提供者の会
- ・相続遺言書作成
- ・認知症ヘルパーさんの相談会

子供向けのイベント

- ・金魚すくい
- ・スーパー ボールすくい
- ・勉強を見る会

移動サービスの拠点

- ・待合場所とする
- ・移動サービスの中継地点とする

よろず相談の場

- ・相談窓口
- ・行政への接続

第三回の結果

③住まいに関する提案

年をとっても安心・安全に住めるような住まいの提案や、より快適に暮らすためのプラスαの機能についても提案いただきました。

住まいのサイズ・かたち

- ・平屋に住みたい
- ・収納の多い家
- ・2階を取っ払える家
- ・レイアウト変更が可能
- ・高齢になると階段は使いたくない

バリアフリー

- ・スライド式のドア
- ・車イスでも対応可能な間取り

防犯面

- ・セキュリティがない
- ・防犯カメラ、フェイクカメラの設置
- ・センサーライト
- ・防犯ガラス
- ・2階に寝室
- ・雨戸を閉める

庭

- ・広すぎる庭は不要
- ・手入れを楽しむのに丁度いい広さ

プラスαの空間

- ・仏間
- ・ゲストルーム
- ・食事が一緒にできるスペース
- ・コミュニケーションがとれるスペース
- ・子供の帰省時の部屋

スマート住宅

- ・興味、憧れがある
- ・太陽光発電で光熱費削減
- ・医療サービス